

危機対策本部会議

日 時：令和3年7月20日（火）16：30～13：45

場 所：3号館4階会議室

内 容：

- ・職域接種の1回目 約1,200名、ワクチンを無駄にすることなく終了した報告。
- ・接種後に迷走神経反射が13名あり、2回目接種時には、ベッドで横になって接種する。
- ・1回目の副反応で、発熱が2～3日や嘔吐下痢の症状のあった学生がいた事の報告。また、副反応で講義を欠席（公欠扱い）した学生が8名いた。
- ・1回目に副反応があって、2回目の接種に不安をもたれている学生への対応が必要。
- ・前回同様、学生の予診票を事前に提出させ、医師による確認を行い、その際に2回目の接種に不安を持たれている学生等の問診を行う。
- ・男子寮については、8月13日朝まで開所するが、副反応の状況では、個別に対応する必要がある。解熱剤の準備や休日診療の病院の確認を行う。
- ・モデルナの対象が12歳まで引き下げられるが、法人において高校生への接種（職域接種）は難しいため、各地区の集団接種などで受けてもらう。
- ・夏休みへ向けて、学生への注意喚起。ワクチン接種したことで感染しないことはないため、接種の有無に関係なく、全員を対象として文書を作成し、学長、学生部長名で発信する。
- ・緊急事態宣言地区、まん延防止地区への出張や帰省については、従来通りの取り扱いとする。
 - ※緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の地区の他、直近1週間の人口10万人当たりの感染者数が10人以上の地区も準じるものとする。
 - ※上記の地区からの 帰崎後、原則2週間は自宅待機とする。ただし、帰崎後1週間で症状がなく、体温も平熱の場合は、自宅待機を解除するが、体調管理は引き続き行う。
- ・後期の講義開始は9月24日。9月22日にオリエンテーションがあるため、今の状況を書き加えて、休み前に掲示で周知。
- ・就活における面接等への対応について、1次面接はWebが多いが、企業も人物の確認で対面の面接を行うため、学生が東京、大阪へ出向く必要がある。この場合も、感染防止のため、帰崎後の対応をとることを学生へ周知。
- ・緊急事態宣言地区、まん延防止地区の企業の人事担当者が本学へ来訪することについては、従来通り、訪問をお断りし、リモート等での対応とする。
- ・まん延防止地区の神奈川から、NEDOの検査で8月19日に本学訪問する。検査のため、来訪は断れないが、本来、本学における感染防止対策ではリモートをお願いしている状況をお伝えし、来学にあたっては、感染対策（来崎前、1週間の健康管理や複数人での会食など）に十分注意をお願いすると共に、当日の検査時もパーテーションを設置するなど感染防止の対策をとり、関係部署の最少人数で対応し、対応者・時間など記録を残しておく。